

平成 30 年度 第6回 政策調整会議 会議録④

◆開催日時:平成 30 年 10 月 22 日(月) 10:47～12:01

◆開催場所:第2委員会室

◆出席委員:小山副市長、土佐副市長、樋口教育長、赤井市長公室長、藤浪企画調整部長、
坂井総務部長

◆審議事項

・牛滝温泉やすらぎ荘の今後の在り方について……………観光課⇒承認

◆審議概要

『牛滝温泉やすらぎ荘の今後の在り方について』

〈説明者〉寺本観光課長、中浜参事、高橋主査、武智担当員、仲井職員

〈他出席委員〉大西魅力創造部長

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

本審議事項については、公開により事務の公正かつ適正な執行に著しい支障をおよぼす恐れがあるため、審議内容は非公開とする。

【異議なし】

⇒本件、一部修正の上、政策決定会議に付議する。

平成 30 年 10 月 18 日

政策調整会議付議依頼書

魅力創造部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	牛滝温泉やすらぎ荘の今後の在り方について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	本施設は、平成 11 年に整備して以降 20 年を迎えることから、改めて施設の在り方を検証し、さらなる本市の観光拠点としての魅力の創出や、市民の憩いと交流の場の形成を図るため、平成 31 年度以降の運営方針及び運営事業者選定のための詳細条件等の内容につきご審議いただくものです。
説明者	観光課長 寺本 隆二
	参事 中浜 忠義
	主査 高橋 宏和
	職員 仲井 泰三
付議事項の概要	様式別紙に記載

別紙

付議会議	平成30年度 第6回会議
付議事項	牛滝温泉やすらぎ荘の今後の在り方について

★取組の目的

対象	市民、観光客等
どのような状態を目指す	本市、山手地域における観光や交流拠点としての中核的施設として機能のさらなる充実に向け、牛滝温泉やすらぎ荘を廃止し、民間施設化(委譲)する。

★総合計画上の位置付け

106030201	基本目標	I－6 海から山までをつなげ、新しい価値と活力を創出する
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(3)1年中を通じて多くの人が岸和田を訪れ、市民と交流している
	目指す成果	②市民が観光資源に親しみ、多くの観光客でにぎわっている
	行政の役割	ア まちづくり観光を推進する

★現状と課題

本施設については、老朽化や露天風呂の地盤沈下、老衰等の課題を抱えている。
平成31年度以降の指定管理者制度の継続には、施設の大規模修繕が必要であることから、平成31年度以降の施設運営の方向性についてサウンディング型市場調査を実施するなど在り方について検討を重ねてきた。
その結果、厳しい財政状況中で、大規模修繕や今後も予想される施設改修等の予算確保が困難であることや、行政の枠を超えた事業展開が期待でき、民間のノウハウを最大限に活用することが可能となることから、民間施設化(移譲)が、賑わいの創出と共に地域の活性化には必要であると考える。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
地元説明会等廃止に向けた説明・庁内調整									
募集要項公表及び事業者選定									
牛滝温泉やすらぎ荘の廃止(平成30年度末)									
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費			計		H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
			0		0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性		H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
有	無					

★取組の効果を表す指標

	指標名	単位	H28年度	H29年度	H30年度	目標値				
						H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
①	牛滝温泉やすらぎ荘維持管理費	千円	32,925	9,891	20,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。